

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

SFS 福山工場(シャープ福山セミコンダクター株式会社)

(2) 事業所の所在地

広島県福山市大門町旭1番地

(3) 業種

2814 集積回路製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和元(2019)年度を基準年度とし、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和元年度 (2019)	令和6年度 (2024)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO2	27,614	28,994 5.0	29,189 (5.7)	937 96.6		100.0	100.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス	24,526	25,752 5.0	28,573 (16.5)	0 100.0		100.0	100.0
温室効果ガス 実排出量総計	52,140	54,745 5.0	57,762 (10.8)	937 98.2		100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	会社分割により半導体製造事業等をSFL 福山工場（シャープ福山レーザー株式会社）に承継したことで、排出量が大幅に減少しています。 (CO2排出量は、省エネ法、温対法報告における各係数を使用し算定)						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **総処理枚数(千枚) → 未設定**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和元年度 (2019)	令和6年度 (2024)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	0.3049	0.2900 -4.9	0.2588 15.1	— #VALUE!		100.0	100.0
実績に対する 自己評価	会社分割により半導体製造事業等をSFL 福山工場（シャープ福山レーザー株式会社）に承継したことで、原単位算定は行っていません。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。